

8
働きがいも
経済成長も

11
住み続けられる
まちづくりを

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

二地域居住・ おためし居住を考える



二地域居住促進についての計画策定に向けた
アイデア出しワークショップ



ゲスト 高橋 博之 氏
 株式会社雨風太陽 代表取締役
 全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム
 「登録・地域関与部会」座長

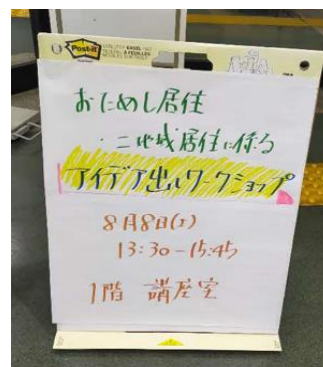
花巻市のまちづくりの方向性の一つである「花巻の魅力を発信して『つながる花巻』」。
 花巻の魅力を効果的に発信し、まちを応援するファン、関係人口や交流人口、移住・定住を
 更に拡大させ、花巻を大きく豊かに循環させていくことを目指しています。
 市ではおためし居住や二地域居住を促進するための計画を策定予定であり、策定に向け、
 ゲストによるミニトークのほか、市民の皆さんから意見・アイデアを募るワークショップを
 行います。

二地域居住・おためし居住を考えるアイデア出しワークショップ

ふりかえり資料

令和8年8月8日(土)

花巻市生涯学園都市会館(まなび学園) 1階 講座室



【問い合わせ】

花巻市地域振興部定住推進課

〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号

電話0198-24-2111(内線272)FAX0198-24-0259

E-mail:teiju@city.hanamaki.iwate.jp

目 次

1 ワークショップの概要	2
2 ワークショップの意見概要	4
3 ワークショップの意見	5

8
まちづくりも
経済成長も

11
学びあえる
まちづくりも

17
パートナーシップで
目標を達成しよう



二地域居住・ おためし居住を考える

二地域居住促進についての計画策定に向けた
アイデア出しワークショップ



ゲスト 高橋 博之 氏

株式会社雨風太陽 代表取締役
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム
「登録・地域関与部会」座長

花巻市のまちづくりの方向性の一つである「花巻の魅力を発信して『つながる花巻』」。
 花巻の魅力を効果的に発信し、まちを応援するファン、関係人口や交流人口、移住・定住を
 更に拡大させ、花巻を大きく豊かに循環させていくことを目指しています。
 市ではおためし居住や二地域居住を促進するための計画を策定予定であり、策定に向け、
 ゲストによるミニトークのほか、市民の皆さんから意見・アイデアを募るワークショップを
 行います。

2026. 8 . 8

[土]

午後 1 時30分～ 3 時45分

内 容 ▶ ミニトーク ・二地域居住ってななに -HANAMAKI BASE を活用したおためし居住- 株式会社雨風太陽 代表取締役 高橋 博之 氏 ・HANAMAKI BASEと、その周辺区域について考える (計画案説明) 花巻市地域振興部定住推進課 ▶ ワークショップ HANAMAKI BASE発、二地域居住・おためし居住を考える ファシリテーター (株)Pサポ東北事業部長 太田 陽之 氏	場 所 まなび学園 (花巻市生涯学園都市会館) 1 階 講座室 定 員 30人 (先着順) 申 込 申し込みフォーム  右記のフォーム、もしくは定住推進課にお 電話にてお申し込みください 申込期間：7月21日(火)～8月5日(水)
--	--

主催：花巻市
 協力：花巻二地域居住推進コンソーシアム (株)雨風太陽・
 花巻市・(株)Pサポ東北・東日本旅客鉄道(株)盛岡事業本部

【お問い合わせ】
 花巻市地域振興部定住推進課
 (電話：0198-41-3516)

ワークショップの概要

1 目 的

花巻市では、市のまちづくりの方向性－8つの「目指す姿」を掲げ、市政運営に取り組んでいます。その一つが「花巻の魅力を発信して『つながる花巻』」であり、花巻の魅力を効果的に発信し、まちを応援するファン、関係人口や交流人口、定住・移住を更に拡大させ、花巻を大きく豊かに循環させていくことを目指しています。

この「つながる花巻」の施策の一つとして、花巻市における二地域居住の取り組みを進めるべく、二地域居住者の「住まい」や、「コミュニティ」「なりわい」などの身近な生活の場となる区域(※)を定め、二地域居住を促進するための計画(特定居住促進計画)を策定いたします。

その上で、花巻市・(株)雨風太陽・(株)Pサポ東北・東日本旅客鉄道(株)盛岡事業本部は、花巻市仲町にある民間のおためし居住施設「HANAMAKI BASE」を二地域居住における「住まい」の場と位置付け、国土交通省の補助事業「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」を活用して、二地域居住やおためし居住の実証事業に取り組んでまいります。

また、花巻市内には、まつりや地域のイベント、体験など、二地域居住者が参加・参画できる活動や地域資源があり、関係人口としての関わりも期待されます。

このことから、おためし居住や二地域居住の実証事業や計画(案)への意見やアイデアを募るワークショップを行います。

※HANAMAKI BASE(花巻市仲町)は、花巻市立地適正化計画における居住誘導区域に位置していることから、同区域を二地域居住者の身近な生活の場となる区域(特定居住(=二地域居住)促進区域)に位置付けてまいります。

2 主 催 花巻市

協力:花巻二地域居住推進コンソーシアム
(構成団体)
花巻市・(株)雨風太陽・(株)Pサポ東北
東日本旅客鉄道(株)盛岡事業本部

3 日 時

令和8年8月8日(土)13:30～15:45

※終了後、希望者を対象にHANAMAKI BASEの見学会を実施

4 場 所 生涯学園都市会館(まなび学園) 1階 講座室

5 参加者 18名

ワークショップの概要

6 内 容

進行:(株)Pサポ東北 太田陽之氏

(1) 開会(13:30)

(2) 主催者挨拶(13:30-13:35) 花巻市地域振興部長 及川 盛敬

・事務連絡(13:35-13:40)

・グループ内で自己紹介

(3) ミニトーク(13:40-14:20)

①「二地域居住ってなあに・HANAMAKI BASEを活用したおためし居住」
(20分)

株式会社雨風太陽 代表取締役

全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム

「登録・地域関与部会」座長 高橋 博之 氏

②「HANAMAKI BASEと、その周辺区域について考える(計画案説明)」
(15分)

花巻市地域振興部定住推進課長 村田 豊隆

(質疑5分)

～休憩～(14:20～14:30)

(4) ワークショップ(14:30-15:45)

「HANAMAKI BASE発、二地域居住・おためし居住を考える」

ファシリテーター (株)Pサポ東北 太田陽之 氏

○グループに分かれ、ワークショップを行います。

ラウンド1「ミニトークの感想、質問したいことを共有しましょう」

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

全体共有(発表)

(5) 主催者お礼・閉会(15:45)定住推進課長 村田 豊隆

ワークショップの意見概要

1 花巻の魅力発信

「宮沢賢治」などの郷土の偉人や温泉をはじめ、豊かな自然、文化など、花巻の魅力を発信することで、おためし居住、二地域居住者の来訪につなげたい、といった声があった。

2 HANAMAKI BASEなどの宿泊施設との連携

おためし居住、二地域居住向けのHANAMAKI BASEは、おためし居住等の拠点であり、今後、他の宿泊施設等との連携も必要であるといった声があった。

3 地域の担い手活動の重要性

首都圏等から二地域居住を受入し、まつり、イベント、草刈などの地域の担い手活動に取り組んでもらうことで、地域を維持していく、という目的を多くの市民、地域住民が共有し、地域の担い手活動について理解し、その掘り起こし、紹介やマッチングが求められるといった声があった。

●地域の担い手活動

…総務省が令和8年度内に開始予定である「ふるさと住民登録制度」において地域の担い手不足を解消するため、地域外から通って、まつりやイベントへの参画、草刈、ボランティア活動などの担い手活動を行ってもらうことを想定している。

4 二地域居住者への交通費などのインセンティブ

首都圏から本市までの移動、駅や空港に到着後の二次交通に係る交通(費)支援を望む声があったほか、二地域居住に係るその他のインセンティブの付与を望む声もあった。

5 二地域居住への理解とマッチングなどの体制づくり・情報発信

「二地域居住」「地域の担い手活動」などについて、市民への理解の促進につながるよう啓発の機会が必要であるといった意見があった。また、二地域居住者と市民との交流を楽しく行う、などの意見があった。

また、二地域居住者の受入体制の構築や、二地域居住者と地域、二地域居住者と地域の担い手活動とのコーディネートやマッチングを求める声があった。

その他、ふるさと住民登録制度を見据えた取組みや、二地域居住に係る情報発信の仕方の工夫、二地域居住に係る予算の確保、市と地域・民間との連携、花巻市だけではなく、市域を超えて連携して取り組むことを望む声もあった。

●ふるさと住民登録制度

…総務省が令和8年度内に開始する、居住地以外の特定の地域とのつながりを、アプリを使って登録・可視化し、継続的な関係をつくる仕組み。首都圏等にいながら、地方自治体の情報が通知される「ベーシック登録」と、地域の担い手活動に通ってもらう「プレミアム登録」を想定している。

ワークショップの意見

グループA

ラウンド1「ミニトークの感想を共有しましょう」

No.	付せんの意見
1	定住促進と二地域居住・おためし居住のどこが違うのか？
2	「なり手」として、どんな方を想定しているのか？出身者・ルーツもつ人に限らずに
3	移住定住でパイの取り合いよりも、二地域居住で人材のシェアをすることはとても有効と思う。
4	最初の接点をどうつくるか↓
5	宮沢賢治 大谷翔平
6	貢献したいという気持ちをどう育てるか↓
7	来てもらえるだけでよい、くらいの気持ち（受け入れ側が）
8	人との出会い
9	受け入れる側 ある程度のゆるさが必要
10	民間に任せた方がよい。例えば、高橋博之氏にすべてまかせたほうがよい。
11	役所がかかわりをもたないほうがうまくいく。役所にきたいしていない。
12	大切にしたいことを市民におしつけないこと。お願いすること

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

No.	付せんの意見
1	花巻ならではの体験（自然・田舎だけではない独自性）
2	二地域居住「したい人」「来てほしい地域」のマッチングのツールがあれば
3	↑体験の切り出し（視点の切り替え必要）
4	ルーツのある人に「帰ってきてもらう」仕掛け
5	人口減で一番こまっている「大迫地域」こそ「二地域居住が必要ではないか」
6	→移動手段必要
7	地域の貢献を”求め過ぎない”
8	各町内会・各種団体ごとに説明会をやってほしい。市がやることでなく住民がやることだ。市は説明だけ。
9	花巻の発想は市でやって成功しない 民間に任せる そのため行政であってほしい やる人を探すことが行政の仕事です。



ワークショップの意見

グループB

ラウンド1「ミニトークの感想を共有しましょう」

No.	付せんの意見
1	民間が拠点をつくったというのがすごい HANAMAKI BASE
2	地域課題 移住しなくても解決可能 人材のシェアの考え方がすごい
3	質問 どうして日本の人口減が何が原因というか？
4	二地域居住している身としては自分の生き方を肯定しているよう
5	花巻東高校の活用
6	ふるさと住民登録制度がうれしい

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

No.	付せんの意見
1	おためしして、交流しながら他市町村にまたがって、住民が気軽に参加できる期間設定して、二地域居住もいいのでは？
2	関係人口、二地域居住、担い手のなり手、介護・農業、サポート施策同じで良いの？
3	広域的な考え方、単独市町村ではなく
4	こういう生活の仕方、Uターン、二地域、みんなに教えるべき
5	きっかけどうつくる？歴史・・・実は様々たくさんある
6	花巻の良い所を発信
7	発信の仕方、教育、中・高生から教えていく必要あり→地域愛
8	おためし拠点となる施設必要 花巻ベース宿泊できる。



ワークショップの意見

グループC

ラウンド1「ミニトークの感想を共有しましょう」

No.	付さんの意見
1	「二地域居住」は、人口減少対策の切札
2	「二地域居住」を進めるための「おためし居住」を試行するのでは？
3	「担い手活動」とは何か？
4	生涯の中で必要な場所はそれぞれのシーンがある
5	2地域のニーズに関する客観的なデータ
6	サービスへのフリーライドに関する課題
7	移住者を拒否しないこと
8	花巻市ふるさと納税 全国7位
9	長野、山梨、静岡、伊豆は2地域居住は当たり前
10	人口受給→市の援助
11	子育て支援前の支援
12	→その後、子育て支援
13	富裕層を呼ぶ、呼べるか
14	インターナショナルスクールの誘致
15	インバウンドを受け入れる
16	空港とJR、バスが機能していない
17	空港から温泉へではなく
18	→空港から別荘へ
19	軽井沢は第2の東京へ地価上昇
20	首都圏 中古マンションの価格8500万円
21	若い夫婦の所得 2000万円で家が持てる
22	首都圏での家の購入は不可能
23	路線価・公示地価重要

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

No.	付さんの意見
1	花巻まつりと最初からからませる！
2	各イベントと制作当初から来ていただく！
3	交通手段 より必要である
4	地域の魅力の向上
5	対象世帯を考える必要
6	短期的な2拠点の視点
7	定住の発想とは切り離す

ワークショップの意見

グループD

ラウンド1「ミニトークの感想、質問したいことを共有しましょう」

No.	付せんの意見
1	人口のシェア・・・今後、人口減少が進む地域は、とても必要なことである
2	福島県磐梯町の例をあげられた方々の取組みの実態をもっと知りたいと感じた
3	特定の地域に赴くことでウェルビーイングが上がるって、相当リラックスできないと難しい
4	指標について、数値が低い印象
5	指標が実現した場合の政策効果が見えにくい
6	担い手活動の掘り起こしと地域の理解をどう引き出す？
7	運営体制をどうする？(人・金etc…)
8	地域コミュニティの受入体制づくり
9	全国的なネットワークが必要と思う
10	→首都圏での情報発信はないのか
11	花巻に入って住みやすいと思うきっかけやコーディネートする人、場所が必要では
12	市職員、市民間の横断連携が必要ではないか。
13	もともと花巻に住んでいる方々が大事なのではないか。外から入って来た人と楽しめること
14	来るだけじゃなくて自分たちも行く！

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

No.	付せんの意見
1	”都人よ 来って われらに交われ”～宮沢賢治
2	「人材活用」「役割発揮できる」機会、場所がある
3	花巻の財産（農作物、牧牛、温泉）を活用した、他地域の方が魅力を感じることでできるイベント企画
4	庁内の連携構築
5	市長の本気！！
6	包括的に運営できる組織づくり、ネットワークを活用できるシステム構築
7	居住者とのコミュニケーション（飲み会）
8	地域コミュニティの受入体制
9	前向きな受入準備
10	生活環境 都市機能
11	健康・買物 生活しやすいこと
12	貸出機材 ・草刈機 ・農機具 ・長ぐつetc…
13	カーシェア、自転車
14	自らのセールスポイント、課題を知る
15	RMOとの連携
16	多くの人が集う多様性のある花巻
17	ふりかえり（続けるために）≡やりっぱなし
18	受入の改善 ブラッシュアップ

ワークショップの意見

グループE

ラウンド1「ミニトークの感想を共有しましょう」

No.	付せんの意見
1	自治体のTO-BEと住民の幸せと日本国民の幸せと
2	個人や”気づける”個人のケースをどうスケールさせるか
3	人口減少 インバウンドを”ゆるめたい”って ”ゴール” ビジョン あいまい
4	二地域居住 どういうインセンティブ？
5	ペルソナは シングルマザー？・所得層？・コンサル？・共ばたらき？・60代・子育て世代ではないか
6	HANAMAKI BASEについてもっと詳しく知りたい
7	"花巻市"広すぎるのでは もし、地域をしぼって地域色を出していったほうが……
8	地域の担い手って具体的にどういうことだろう？
9	「プレミアム登録」"自治体が指定する担い手活動"とは具体的にどのような活動を想定しているのか？
10	子育て支援、産前産後ケアはあるけど、小学校入学～はそんなに…。
11	インセンティブないと…

ラウンド2「二地域居住・おためし居住を進めるために大切にしたいこと」

No.	付せんの意見
1	宿泊施設を巻き込もう！！
2	「日常生活」に二地域居住をどうからめてく？
3	特定居住促進区域を定めないほうがいいのでは？花巻市全体にしません？
4	ターゲット層をしぼっていく
5	規模の縮小を平行して考えていかないと、延命処置のようになってしまうかと
6	VS単身赴任 VS別荘 VSワーケーション
7	「不安（の解消）」 地域文化 ゴミ出し イベント 教育etc
8	関連施設を増やしていく 大迫、東和、宿泊、伝統芸能
9	まつりの担い手 お金払うの？お金もらうの？
10	楽天スティ 別荘のカテゴリー 富裕層の二拠点

